



【ハーセプチン+パージェタ療法について】



様



コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

めやすの時間			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
薬の名前	作用																							
ハーセプチン注	抗がん剤です	30分																						
パージェタ注	抗がん剤です	30分																						



この週はお休みです。



この週はお休みです。



治療による副作用

:注意が必要な時期

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	アレルギー様症状																							
	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																							
下痢																								
	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																							
検査値	白血球減少																							
	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																							
	赤血球減少(貧血)																							
	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																							
血小板減少																								
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																							
肝機能低下																								
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																							

心機能低下(治療回数が増えると生じることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

広島市民病院薬剤部